

週寫眞  
報

情 報 局 編 輯  
十一月廿五日 第二千四百八十八號



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

片手で遊撃隊をうち拂ひ

片手で建設の槌を執り

同胞幾萬が

今日も戦つてゐる

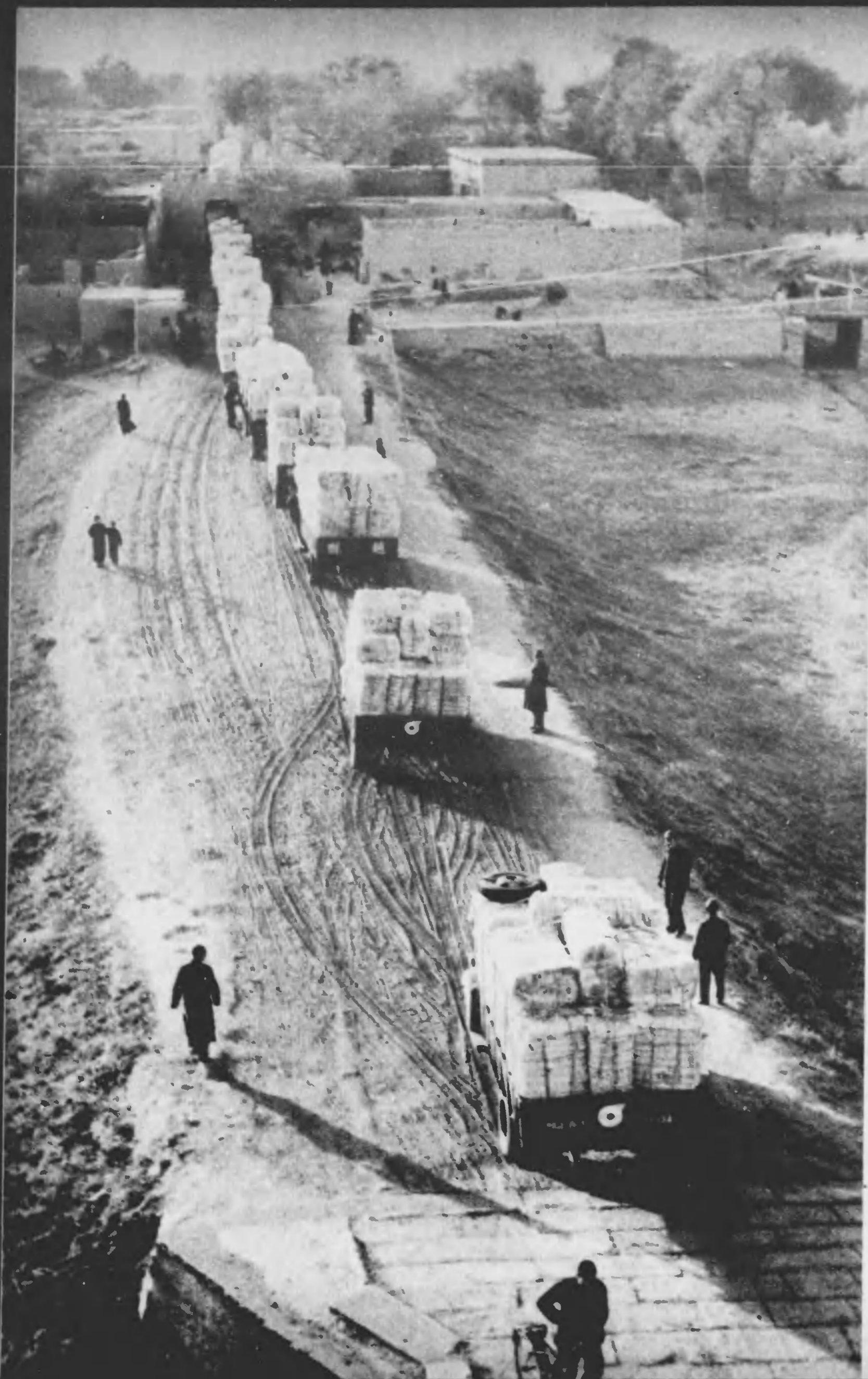
大東亞戦も支那大陸から始つたのだ

忘れてはならない

# 大陸建設も遅く

撮影 華北交通株式会社

雪の道に車の跡も遅く、雪作の  
雑花を積んだ車は遅く、





北支通運株式會社

# 増産へ

水害の難を蒙つて非常に減産した。だが北支通運株式會社の治下、この棉花減産はそのまゝに放つて置かれはしなかつた。この政策としては棉花價格の調整や棉農の改善、華北交通株式會社の鐵路愛護村運動による沿線住民の灌漑用井戸の増強等の積極的な増産政策が樹てられた。治安の回復とともに、この政策に従つて益々と勵んだ北支農民の努力は報いられて、昨年の棉花生産高は事變前の水準に近い成績をあげた。さらに現在の北支棉花栽培状態を推し進めてゆけば、昭和二十五年にはこれまでのわが國棉花の全消費量を越える生産高に達する見込みであるといふことは、堅固として頼もしい限りである。

今年によく獲れたなあ！ こちらの部落や、あちらの部落から棉を賣りに来た農民は市場に屯して喜びを分かち合ふ

集貨場に山と積まれた棉花！大團の原料となり、また濃い純綿衣類となる

# 北支棉花は躍進的

## 大陸建設

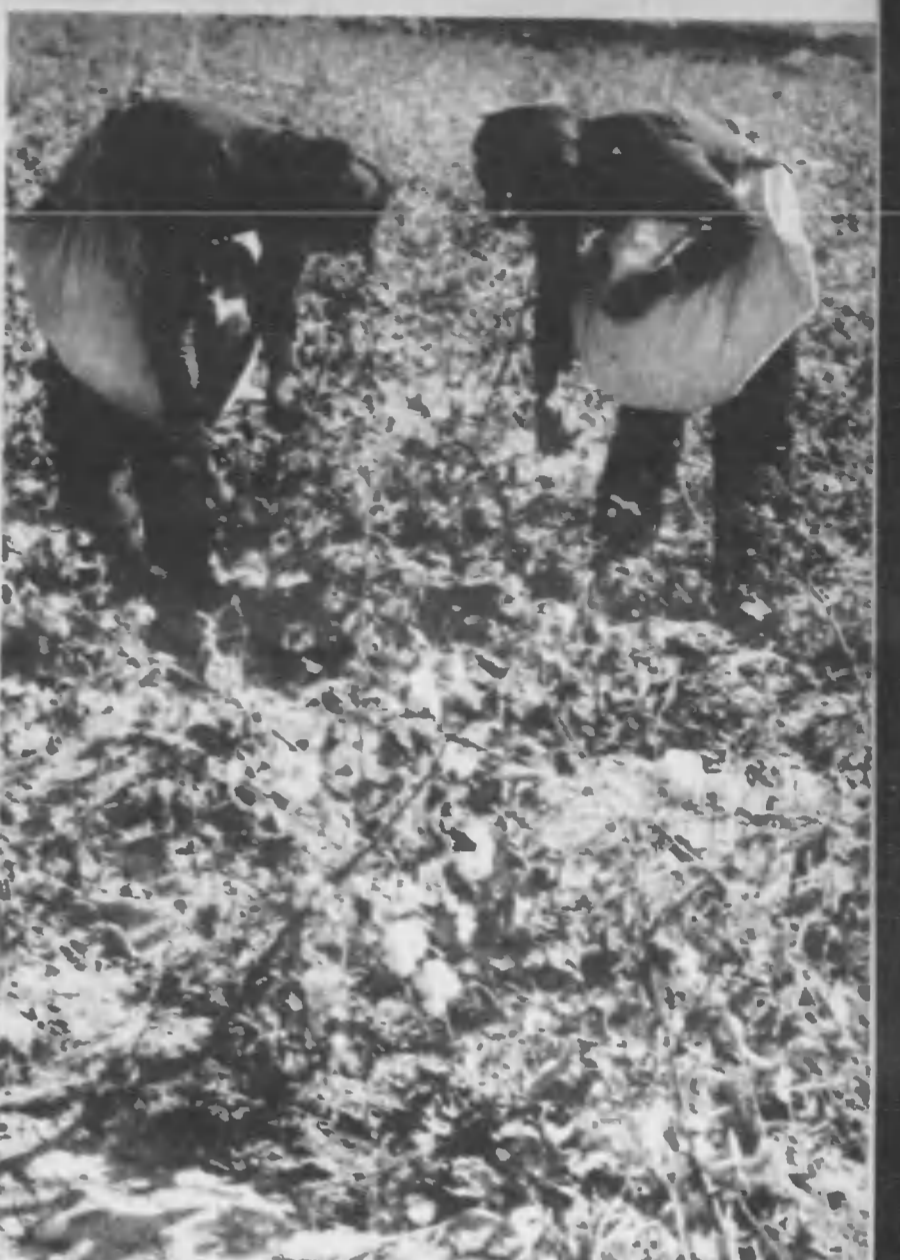
ますます



南に蘇々たる戦果が擧がるなかに、新支那の經濟建設は着々と堅實な歩みを續けてゐる。この活潑な經濟建設の鼓動を北支に窺つてみよう

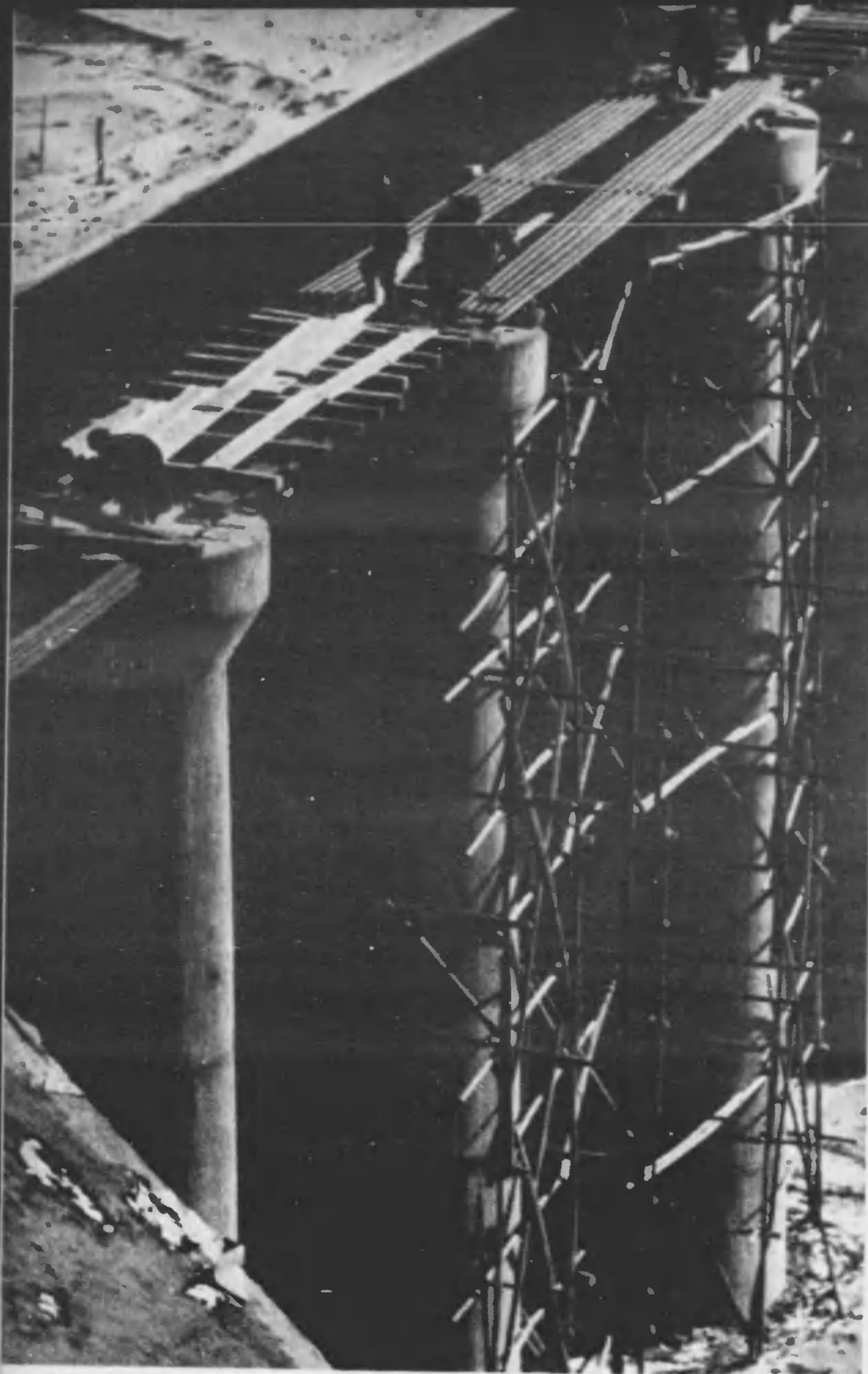
北支の農産資源のうちで最も重要なものは棉であらう。生産高からいつても支那棉は米國、インドに次いで世界第三位にある。しかし、事變前中支の棉とともに山西、河北、山東と北支三省で世界第三位の生産を占めてゐた北支棉は、その後戦禍や旱

十月ともなれば棉の取入れが始まる  
 豊作だ！  
 ...と、かたがた棉の觸感に結核は黄色顔面



有難いことだ、こんなに澤山獲れて...老人の顔には明朗北支の姿が寫つてゐる





**9 9 雪を衝いて**

石炭である。従つて北支に於ける鐵道と炭礦の開發は不可分の關係にある。主なものを擧げてみても京包線の大回石太線の井陘、京漢線の磁縣、津浦線の大汶口、中興、同蒲線の西山、隴海線の柳泉など十指に餘るものがある。そしてまたほ夜に日を次いで建設を急いでゐるものにも同線がある。同線は大回と塘沽新港とを結ぶもので、この線が開通した際には大同石炭の輸送に一新紀元を劃するものとして完成の一日も早いことが期待されてゐる

△ 山の切崩しもどんどんと進む

**鐵路は山西**

大陸建設も遅く

北支鐵道の復興は軍の作戦と平行して占據地域の安定とともに完成し、新線の建設は戦火の餘燼消えやらぬうちから起工され、いまや北支、蒙疆の鐵道は延長約六千キロに及び全支鐵道の延長一万余の六割を占めるに至つた。現下、北支における産業、特にわが國を對象としての産業活動の中心は工業資源の活用である。工業資源といへば石炭、鐵、棉花、鹽など擧げられるが、何んといつても北支資源の大宗は



△ 寒い野天ではあるが、轉轡手は笑つて白旗を振る  
△ 新工事の架橋も、わが世界に誇る鐵道技術で押しまくる  
撮影 華北交通株式會社

△ 山西の野は一面雪に覆はれた。この吹雪と闘つてわが鐵道建設の潮氣は練けられる  
△ 警備員は生命を賭して險路を渡る

# 治安に自衛団必死の協力



非常警備に駆け集る農民の農民



三河縣農民で組織された自衛團、前列は紅帽隊



警備道路に並んで送られる軍用道路 三河縣



捕へられた八路軍工作員を訊問する自衛備隊

## 前線假寝の宣撫行

北支派遣 原田、山本、山崎

前線の戦線、熱砂、黄塵の野に轉じて赤魔の地、蔣軍の眞只中に躍り込み、或いは銃なき聲の戦士となり、或いは軍旗を戦士として恐かな民衆を説き、東亞再建に實夜の別なく精進する報道宣撫の活動は、極めて地味ながら人知れぬ苦勞がある。

常備道班も三浦班長を圍んで、これが報道に、宣撫に、寒日がない。去る五月、勇躍山西〇〇より冀中地區に轉進し、共産滯床地帯に侵入して彷彿する民衆を宣撫し、華北再建を熱叫してゐる。その一つ二つ……

去る五月二十三日第六分區の敵四千を文字通り撲滅させてから、冀中軍區の遊動區團は完全に河北中部の平原から委を沒した。だが根強いのは愚蒙な民衆を驅りたてて築き上げたアミーバーの地下組織である。これを根絶しなければ匪民は永く隔絶され得ない。匪區を分離して、百姓を再教育しなければ復興は望めない。こゝに匪區掃蕩直後の並々ならぬ苦勞がある。

村々の壁に書かれた抗戰の文字を消し、或いは和平建國のポスターを貼り、繪を置き、宣傳文を大書してゆくのを手始めに、敵の空室清野の奸策に強ひられた部落を棄て、田野に彷徨する哀れな民衆を呼び集めて皇軍出師の眞義を説き、八路の奸悪を暴き、大東亞戦争の眞相を説き聞かせる。それには矢張り音楽等の鳴りもの入りで紙芝居もあれば、掛合漫才もやらねば民衆は喜んで集つて来ない。故に日華報道班員はいづれも一致協力して、日夜奮むことを知らぬ宣撫行を繰返してゐる。また時には前線

假寝の宿邊に民衆幹部を集め、或いは眞員等の座談會を催すこともある。今次冀中軍區掃蕩作戦においても、工作宣撫の片時を利用して、殺伐な軍國氣を淨化する座談會が三浦班長を圍んで催された。その演説を學べれば華人報道隊長韓耀斗(山西臨汾、明治大學卒)も民政部司法院第二課長)を初め紙芝居、講演、傳單貼付など民衆の宣撫に大膽な宣傳部長申靜波(河南南陽、河南大學卒)も中央第三軍團團少佐團長)演劇班長陳清華(河南南陽)も九八軍中尉小隊長工作班長楊松林(山西平遙)も上決死第一縱隊付少尉工作員李其美(山西絳縣)も山西保安隊第五區隊司令部幹部)および女工作員の趙鏡(山西五臺)も決死第一總隊(護衛隊長)王藝雲(河北宛平)も六九軍女工作隊員陳惠軒(河北定縣)も小學校教員)等の華人眞員である。三浦班長は常にわが子の如く熱意と愛撫の面持で眞員を説めながら、次ぎのやうに語つた。

大體、中原會戰、沁源作戦の結果、初めてわが方に協力することゝなつたこれらの眞員は、現在こんなまでよく大東亞建設の理想に燃え、班長の下、眞員の團結を堅持し、著々と偉大な實績を擧げた。こゝとは喜びに堪へない……と感涙の詞を述べた。

韓隊長——團長を捕へたからといって大した功績のやうにはされてお恥かしい次第です。私は今まで山西の或る縣長をして捕へましたが、三浦班長以下の眞員から、心の人がとして眞身も及ばぬ取扱をされて來たし

今なほ米英の野望を悟らず、大東亞共榮のために戦ふが眞意を解せず、徒らに米英の走狗となり果て、わが建設戦を妨げる重慶の狂亂よりは同じ東亞の民族としてみるとき情れといふ外はないが、あくまでも支那大陸に新秩序を打ち樹て、建設戦を戦ひ抜かねばならない我々にとっては彼等との戦ひは眞實勝負である。大陸にあるわが將兵はあらゆる困苦を忍びつゝ繰り返し繰り返し敵の逆撃戦術に飽きを加へてゐるが、既に國民政府の治下和平建國の旗に打ち響く幾多民衆はそれぞれ村に町に自衛團を組織して敵のゲリラ戦に備へ、わが警備隊に懸命の協力をつづけてゐる。

夫はまだ共匪に連翹されて山の中を彷徨してゐることぞせう。芝居をやる時でも、歌を唄ふ時でも、私は共匪への呪詛で胸の中は煮えくり返つてゐます。河北の農民だつて同じ中国人です。何とかして一日も早く私達の努力で、彼等を共匪の偽嚮と壓制から解放してやらねばなりません。

陳班長——冀中は共産軍の教育が相當深く民衆に喰ひ入つてゐるから、河南や山西よりは遙かにやりにくい。それ故に我々の宣傳もやり甲斐があるといふものです。確かな認識を得てどしどしこちらの民衆に宣傳してやらねばなりません……と陳中隊長の夜、庭に見る團長は眞員の語りひによつて明日への希望と理想とを深めて行くのであつた……





組合員の自宅にも、組合の役員が訪問して、米の出回りに協力してくれるよう、いろいろと説明する。

↑ 供出米の要領には、各村の女子青年団が出勤して、米を運んだ。

→ 自家保有米出班の小隊も、米を運んで、米の出回りに協力する。

**★戦力をぐんと強化しよう**

一 先づ貯蓄だ！戦力の強化には何をおいても先づ貯蓄だ

昨年はその感涙の日から月末までに『三十億貯蓄』をやりとげて、見事に目標額の百七十億に達しましたが、本年上半期の貯蓄額は百九億で目標の半額に達していません。この不振を一擧に挽回して、本年の目標額二百三十億にぜひ漕ぎつけねばなりません。そのために次ぎのことを必ず実行いたしましょう。

(イ) 大東亞戦争一周年記念貯蓄として十二月中だけで『五十億貯蓄』を達成しよう

(ロ) 國民貯蓄組合へは全國民必ず加入しよう

(ハ) 官費や農家の臨時収入はできる限り貯蓄や公債消化にふり向けよう

(ニ) 生活を最小限度に切りつめ、贈答や遊興をやめて、それだけ貯蓄を増加する工夫をしよう

二 増産に懸命の努力を傾けよう

米は最大なその資源と生産力をたのんで、對日反撃の時期を待つてゐます。今日の戦争が武力戦であると同時に生産戦争であることはいふまでもないことです。より多くの武器を、より多くの食糧を、それが必勝の基礎となるのです。國防資材、造船に關係する工場、鋸山その他各種の事業場に働く方々や、食糧増産に働く方々は一人一々が數百の敵に當る戦闘力をもつて、敵の生産力を殲伏しようではありませんか

# 米を強めてつす

出供米有保家自に關境端

## 縣取鳥

今年は大候にも恵まれ、且つ農家一人々の一筆削りによつて、近年まれに見る豊作でした。しかし例年通り端境期には、どうしてもお米の出廻りが悪くなります。この困窮な時期を乗り切らねば、自家保有米まで供出して、政府の米穀對策に協力した農家は、西郷村大寺農事組合の美しい姿をお傳へいたします。

農事組合では、縣から端境期の政府供出米の割増がくると、一粒でも多くといふ意氣込みから、組合員がそれぞれ、具體策を講じて、ついに自家保有米まで供出するに至つた



農事組合の役員を呼んで、何とかして自家保有米を供出しようとする協力的な協議

農家にとつて自家保有米の尊さは想像以上です。これに手をつける苦痛を押し切つて供出した農事組合の職員は、さらばる悪條件を克服して本年の豊作を獲得した農民魂に一粒の光彩を添へるものでせう

二十三日の新嘗祭を中心に、一粒の米にも心から「勿論ない」の感謝を捧げる新嘗感謝運動が行われますが、わたしたちが喜びをもつて食糧に迎へる新米には、贈へやうのない農家の勞苦と、かうしたつきつめた協力のこともつてゐることを想ひ、深謝の行儀を講じたいと思ひます。

撮影 石巻長一郎

### ★十二月八日は

『帝國陸海軍は本日自未明……』あの大本營發表のラジオ放送をもう一度、耳菜によび起し

(一) 早朝から各戸一齊に國旗を掲げませう

(二) 午前十一時五十九分から正午まで全國民一齊に國威の隆昌、皇軍勇士の武運長久、善惡に感謝の祈念を捧げませう

(三) 正午からラジオで大詔奉讀が行はれますから、黙禮ごとくに集つて謹んで拜聴いたしましょう

(四) 各神社で祈願祭が行はれますから、町内會、部落會、隣組等の代表者はこれに参列し、一般の方もできるだけ神社に参拜して、感謝の祈願をいたしましょう





# 老とくは之見は眼

増産戦士に按摩のさの奉仕園——岡山県

「われ／＼とまたとへ眼は見えなくともお國につくす心において決して目明きの人達に負けない」と岡山縣下の按摩さん達は打つて一丸となり、主として縣下の農務村や、農務村の農務村をみては農務村へ農務村に出かけています。この企ては昨年同郷大友會支部の庶務部長だった杉山さんの肝煎りから實行に移されたもので、以來、無農務村などにおける奉仕園の人達は大したものでした。

按摩さんの奉仕園は農務村の吉野村に出来、金持や農務村に挺身する農務村や、村内の老人たちに按摩やマッサージを施した上、村民に「この非常時下、お國を思へば私たちが盲人でさへも立つとしてをれず、かうして出馬しました。どうか其眼の皆さんにおかれては一番の奉仕園をお願ひします」と天晴れの挨拶を行つて村上の噂を流しました。



岡山県農務村の奉仕園で行つた奉仕園



「具眼の士よ……」と村民に挨拶する理事長さん

撮影 吉田 榮

**二 固めよ空の誇り**  
 國土防衛は私どもに與へられた偉い任務です。これまでともいふかりはない苦ですが、去る日の米嶽の非道な空襲は、わが心と頭に刻みつけて、烈々たる敵機心を燃やして常に防空隊を固め、防空資材の準備、警戒を怠らず、すはといふ時、不覺をとらぬやうに心掛けませう。また附近の防空監視隊の慰問活動等を行つてその勞苦に感謝させよう。

**★ 戦争生活の實踐に協力しよう**

**一 配給消費の適正化に協力しよう**  
 國內も戦場です。お互は戦友です。にも拘らずこれまでは配給消費の方面では、未だ自分本位の態度を捨てきれない人も少くありませんでした。これは戦時生活の秩序を亂す意味で、犠牲行為といひきつてもいいでせう。

今度、全國の都市の町内會には實情に應じて消費經濟部が設けられて、その下に小賣業者と消費者とが配給について互に相談し合ふ配給協議會が設けられ、この問題をすらすらと運べるやうにしていくことになりました。消費者たるわれわれも町内會や隣組を通じて進んでこれに協力し、次ぎの事柄を實行して戦争生活の士氣を固めていませう。

(イ) 賣る方も買ぶ方も、互に戦友愛で結び合ひ、明らかな配給秩序を守つて、闇取引や不正の情實販賣、買渡り等の不徳な行爲を絶対に無くさせよう。

(ロ) 切符制や登録制の配給がすらすら行くやうに工夫させよう。

(ハ) 隣組の共同買出しで輪番制等を定め、各自の努力と協力で買物行列を解消させよう。

(ニ) 家庭生活をよく検討してみませう。まだ／＼無駄があります。お互に注意し合ひ、工夫を話し合つて戦時下にふさはしい消費生活の合理化をはかりませう。

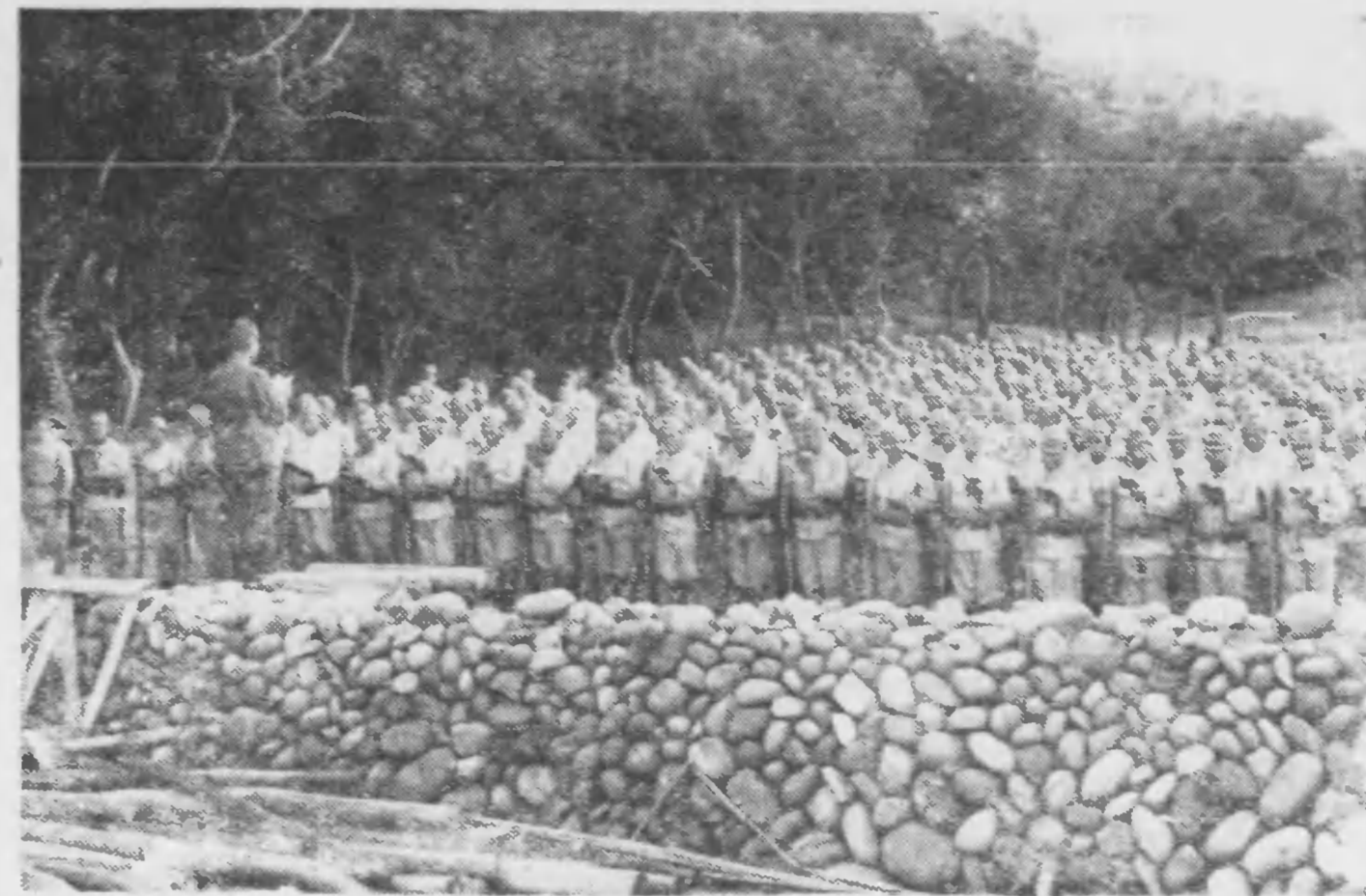
**二 出征軍人遺族家族に絶えざる援護を**  
 われ／＼の町内會、部落會、隣組をこらんなさい。きつと二人や三人の出征されてゐる兵隊がをられることせう。この方々に絶えず慰問文や慰問袋を送り遺族、家族の慰問や手傳ひもいたさせよう。出征軍人の慰問はもとより、英雄の出迎へ、墓碑清拭、墓参等も缺かさぬやうに勉め、傷痍軍人をいたはりませう。

**三 戦時下の輸送力強化にも協力させよう**  
 戦時重要資材や、生活必需物資の輸送は最も大事なこと、少しでも多く、少しも停滯しないやうに必要な方面に運ばねばなりません。この輸送に當る重要な機關である汽車の輸送を強化するため、この際、遊樂や急がぬ旅行は絶対によめ、託送荷物を極力自給して、少しでも多くの輸送力を重要物資の輸送に廻すやうにさせよう。鐵道省では先頃から運轉時間の改正や乗車制限など、全面的な輸送力の強化をはかつてをります。これらについても十分の理解をもつて出来ただけ協力するやうにさせよう。

× × ×  
 今月は本年最後の常會です。お互に一年間の常會を顧みて、改めるべき點は速かに改めるやうにいたさせよう。

# 臺灣の 志願兵訓練所

朝鮮同胞の中から選りよれた特別志願兵は、人助を習得し、

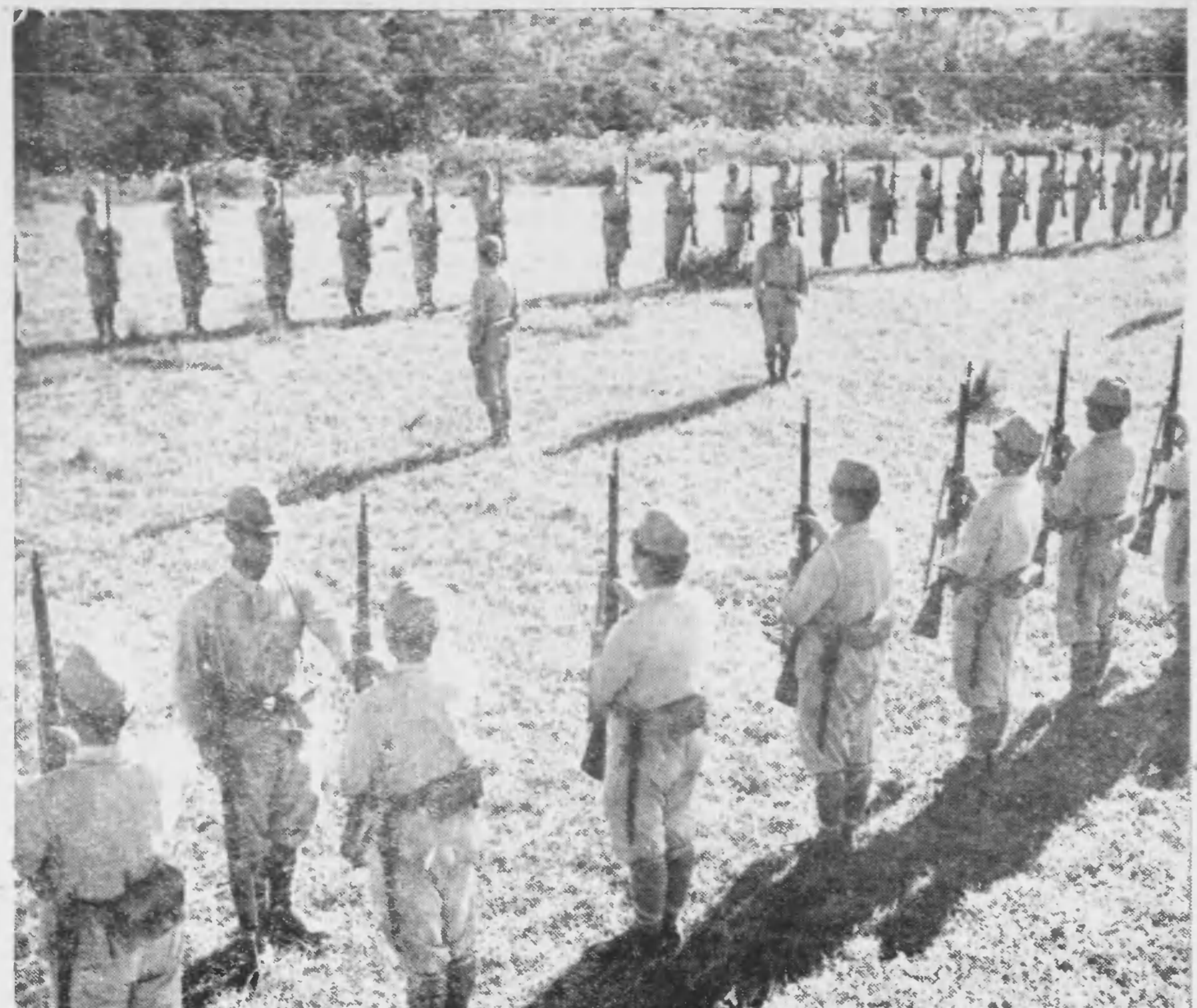
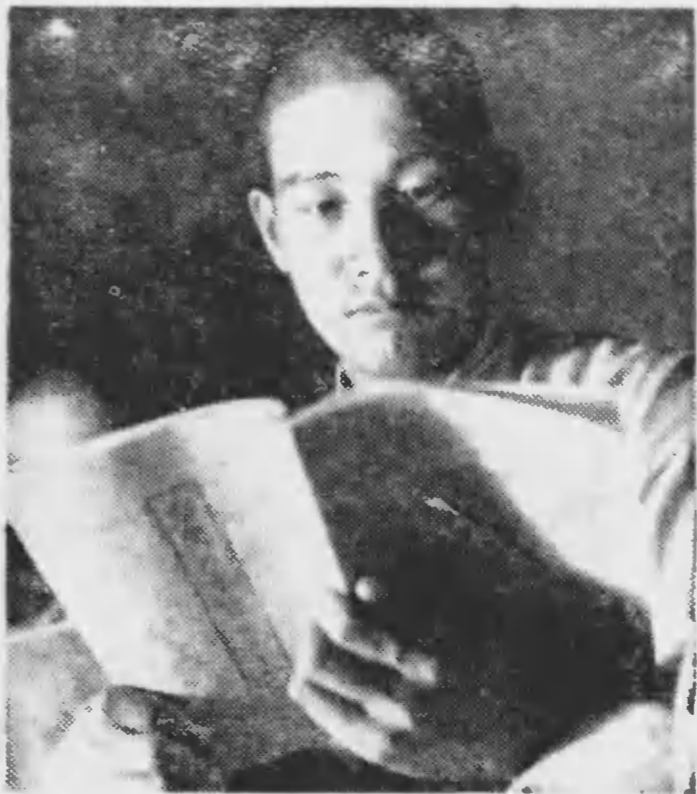


明治五年、徴兵の詔を拜して徴兵令が施行せられ、國民皆兵といふ古の制度に復してから今年で丁度七十年を遂げた。この間西遷の事變や臺灣征討などをはじめ、日清、日露の兩役、滿洲、支那兩事變に遭遇しながら常に國民が舉國一致して兵役制度の眞價を發揮し、國國の大任に當つてきたお蔭で、わが國運の前途は實に洋々と拓けてきた。いままた大東亞戰爭を戦ひ、越々の戦果があるに、わが崇高なる兵役制度が極めて大きい力をいだし、戦局に光明を與へてゐることは何人か疑ひを容れないところであらう。

その間にまた、朝鮮下に於ては、徴兵制施行七十年の意義ある年において、朝鮮同胞に對して徴兵制(昭和十九年)を施行することが閣議で決定され、臺灣同胞に對しては特別志願兵制度が設けられ、これら同胞に國國の大任を擔ふ榮譽を與へたことはわが徴兵制度の一大發展として特筆されるべきことである。



元一札カ一ノ體格と體力を練る志願兵  
兵種の上級とは一書物に食ひ入る臺灣青年の眼を賣りて



兵種の本義は「國勢よく上げる手に非ず、官に就くもしく井をすも」も銃の支へもしつかりしてきた一兵士の心算  
常更に下、訓練は続けられる



# 結が教宗 マルビぶ

東道派マルビ  
作京山西 樹中軍陸

えなくなるよと、静かな顔をして  
貴族から出て来た。ひどく驚いた  
やうな顔付がいかにもおかしな  
たので、周囲の兵隊をすつかり笑  
はせた。乾季のため半分ぐらゐる美  
しく紅葉した道、道路は赤い  
て現代する山脈を、道路は赤い  
うに曲り廻つてつゞいてゐる。

あつた。○部隊が在陣地を突  
破、ジャンクルから這ひだして、收  
容を逃つて一月の日のアン附近に  
進出し、ビルマ軍に便衣した將  
校下級がアン河渡河點附近に進  
出して對岸の敵情を探察してゐ  
たところ、途中で出會つたのがウー  
サーデマである。ウーサーデマは  
最初、將校下級のロンギの着方  
で日本軍なるを看做し、會話の結  
果、ロンギの着方を教へ、對岸  
の敵情を報告、さらに偵察して皇  
軍の陣地を四つたといふので同將  
校下級より賞状をもらつてゐる。

故國とほく  
○部隊の集ひ

激戦の跡とも見えず海面の面は夕陽の影をうつつして  
いたつきの風きにあれどこの兵を逃かしてすまじ神よ護らせ  
感涙に胸をせまきけり新領土マレーの子等が歌ふ君が代

草履一基スコールに濡れてあり道の邊に誰か捧げし紅きカンナヤ  
故國への贈りあかおと願ふなり振り行く兵の病衣の白さ

看護婦 池田 桃枝  
看護婦 金清 さつ子  
船出をば共にいたせし將兵と別れ惜しむつ兵隊りに振る  
船中に臥して俄におにきりにみとりし兵を思ひ出せり

といへども、最早や、いづれのビル  
マ人よりも日本をよりよく知つた  
一人となり、皇軍の有力なる宣  
傳の一員となつて、ビルマ民衆に向  
つて叫んだのであつた。皇軍が進軍し  
たばかり、未だ補給消えやらぬ街、  
昨日奪取したばかりの村、そして  
第一線部隊と共に入城した市にお  
いて、大衆の面前に黄衣姿の彼の  
烈々たる叫びは、時には千餘に亘る  
民衆を沈黙せしめ、烈々たる氣魄  
を以て「日本軍の眞意」を説き、「ビ  
ルマ作戦の眞意」を説き、そして  
「アジアに對する英米の策謀」を論  
じ、眞にビルマ人の歩むべき道を  
説き拓いたのであつた。

ビビビ、ビビビ、ビビビ、と音を  
響くやうな薄気味悪い機銃掃射は  
不意に頭上約百メートルに現はれ  
た敵機の大群と共に耳を穿つた  
いた。大きな音響をしたものが敵  
機がぶさつて来る感じを受けたが  
ら、アアといふ間に周囲には掃射  
弾がブス／＼と音を引くやうに流  
れて行つた。ラジオを出発してビ  
ルマを種々國境に向つて疾  
走してゐた自動車も、情力を利用  
して道路を左に木立の叢に這入  
つて急停止したのと同時である。  
敵機は山陰に遮蔽しつゝ低空飛行  
で近づいて来たらしく、爆音も機  
影も全く射撃を受ける直前まで認  
めることは出来なかつたのであ  
る。敵ながら勇敢にもたゞ一機で  
自動車隊列の中央附近を爆撃し  
て飛び去つた。

三ヶ月に亘るビルマ作戦の間、主と  
してビルマ中、病魔の鬼窟ともい  
れるシャンステートにおいて皇軍  
の宣傳工作に率先挺身、協力一體  
となり、對敵對民衆宣傳に身の疲  
せ細るが如き献身的な奮闘を続け  
て敢へて辭せず、徹頭徹尾奮闘の  
二字につけるビルマ僧がある。

壯絶南太平洋海戦  
○十月二十六日サンフランシスコ  
おける海軍省の一日——向つては  
交戦した海軍省の光景、本はわが  
を説しながら右に連発を立つ

ふにビルマ人の最も敬慕するビル  
マ僧ありといふわけ、民衆は僧  
の絶叫が最高潮に達するや、手  
合はせ眼から眞剣な涙を流して拜  
むのであつた。

「宗教が結ぶビルマ」である。ビ  
ルマ人は一度、僧侶が言つた言葉は  
金言の如く信じて疑はない。酋長  
であらうが誰であらうが一度、ビ  
ルマ人にして僧侶の前に出づれば  
聴いて三拜して禮するのが常であ  
り、またその通り實行されてゐる  
のは驚く程である。

ときには數名のビルマ人を相手  
に、また時には途中の僧侶をパナ  
ナの木陰に集めて語々として説  
く彼の顔は血に燃えてゐた。烈々  
たる氣魄に震れたビルマ人は、光  
明の黎明を見出したかのやうに希  
望に燃えて皇軍に協力した。

ビルマ作戦、否ビルマ建設の陰  
にかうした隠れたる戦士もゐるこ  
とを忘れてはならない。



## 大東亞戦争日誌

十一月

一、帝國海軍部隊は七月下旬以降十月下旬まで敵潜水艦二十一隻を撃沈、この間我が方潜水艦二十九隻、十二万二千五百トンを失ふ。

二、帝國海軍部隊は右期間に敵船三十四隻、二十五万二千四百トンを撃沈、この間我が方潜水艦二隻を失ふ。

三、帝國海軍部隊は六月下旬陸軍地帯領以來緊密なる協同の下にこれを確保し、六月十二日以降十月三十一日までには敵艦八十一回に亘り交戦その三十二隻を撃沈、我が方の損害、潜水艦一隻沈没、輸送船二隻大破、水上機十五機損傷及び未歸還、その他軍事施設に若干の損害あり。

十四日、帝國海軍航空部隊は十二日雲間ソロモン群島カタルカナル島所在敵艦、輸送船に對し攻撃を敢行、次いで同日敵軍機が有力なる攻撃部隊はこれに對面突入し所在敵艦船の大半を撃沈、なほ猛烈なる砲撃中、現在重要に判明せる結果

一、海軍航空部隊の戦果、撃沈、新形巡洋艦一隻(轟沈)、乙級巡洋艦一隻、大破、送給三隻、輸送船三隻、夜間攻撃部隊の戦果、撃沈、新形巡洋艦二隻(轟沈)、大型巡洋艦二隻、輸送艦一隻、大破、巡洋艦三隻、輸送艦三隻

三、我が方の損害、戦艦一隻大破、輸送艦二隻沈没、飛行機十機損失

十五日、大東亞戦争第一周年

一、日七回弾丸切手賣出

二、日七回記念戦艦

三、活立運動

四、十一月まで同軍人選

五、日七回記念戦艦

六、日七回記念戦艦

七、日七回記念戦艦

八、日七回記念戦艦

九、日七回記念戦艦

十、日七回記念戦艦

十一、日七回記念戦艦

十二、日七回記念戦艦

十三、日七回記念戦艦

十四、日七回記念戦艦

十五、日七回記念戦艦

十六、日七回記念戦艦

十七、日七回記念戦艦

十八、日七回記念戦艦

十九、日七回記念戦艦

二十、日七回記念戦艦

廿一日、日七回記念戦艦

廿二日、日七回記念戦艦

廿三日、日七回記念戦艦

廿四日、日七回記念戦艦

廿五日、日七回記念戦艦

# 極寒敵中 一兵も千に當る



太平洋に於ける形勢を何とかして挽回しようとする海軍は、第一次ソロモン海戦以来幾度かの反攻を企てたが、北方においても、六月七日わがアリートン諸要地の攻取を以て、日本より受ける新たな脅威に、この北方の重大性を今更ながら認識して、これを奪還すべく、その有力部隊を出撃させるとともに、殆んど連日のやうに敵機または敵十機の重爆撃機からなる編隊をもつて死物狂ひの反撃に出でつゝあつた。

これに對しわが陸海軍部隊は、敵の陣中にも等しいこの地域において、寡兵ながら一兵よく千に當るの覚悟をもつて幾度かの敵襲を撃退し、六月十二日から十月三十一日までには交戦回八十一回、その間敵三十二機を撃墜する戦果をあげたのである。このやうに同方面守備の任にあるわ

が部隊は、南方ソロモン海戦における輝く大戦果に呼應して、敵反撃の鋒先を見事破砕しつゝあるが、わが方においても駆逐艦二隻を喪失、輸送船二隻を大破、自爆、未歸還の水上機十五機といふ重い犠牲を拂つたほか、軍事施設にも若干の被害を受けたのであつて、これをもつてみても同方面の戦況がいかに激烈であつたかは容易に知ることができよう。

やがて内地にも木枯吹き荒ぶ冬がくる。われらは北方四千キロ、生きてゐるだけさへ困難な零下数十度の酷寒のなか、言語に絶した戦ひを不斷に続け、敢然と北進の守りにつくこれら勇士たちの勞苦を偲ぶとともに、いよゝ生産力を増強して敵米英を叩き潰すまで闘争を続けかねばならない。

□ 北極の寒さは非に堪へない。海軍に委ねられた部隊が狂ふのが北方である。わが海軍の勇士は限りない勇氣を誇る

□ わが海軍に委ねられたアメリカ側隊の戦果。軍用ソリダー、B二四型機の戦果

撮影 陸海軍報道班員

□ 敵機の襲撃に寸分のゆりもなく對空監視に備へる海軍の部隊



□ 敵機の襲撃に寸分のゆりもなく對空監視に備へる海軍の部隊



雨季のやうやく明けたビルマの街から村へ  
 今日も放送車が異様な鬧雑をあらはすと、も  
 ら住民たちがわいつと集つて来る。去る五月  
 ビルマ軍の作戦が終了すると、放送車は民衆  
 宣傳の有力な動力として活潑な活動をはじめ  
 たが、とくに八月以来、ベ・モ長官の下、新生  
 ビルマ建設を力強く踏み出したビルマ人に對  
 して市場で、廣場で、校庭で、放送車のスピ  
 ーカーは新生ビルマの意氣をわかりやすく、  
 力強く語り出した。

← かつて東南トラマの走りつづけた道を街か  
 ら村へ、新ビルマ建設を鼓すに進む

← 「みんなそろつて新生ビルマのために働きませう」放  
 送車はラングーン市内にびらをまいて走る



← 村の入口には放送スピーカーが貼られる。遠く  
 からもう子供たちが飛んで来た

← 市場に入るとまづレコード放送が始まる。それに續い  
 て隣にも解るやうにやさしく新生ビルマを語り出した



← 楽しいレコード放送が始ると「ベ・モ長官もいはれたやうに熱心こそしつかり  
 働いてビルマ人のビルマにしようではないか」と報道班員の熱意がづく



撮影 前田陸軍報道班員

← 珠敷と傳單を手に農夫の妻はなる程なる程といよ／＼熱心にきこ入る



海外通信

佛領アフリカ防衛に起つた独伊軍

米軍の不活発な防衛... 佛領アフリカ防衛に起つた独伊軍



得意の急降下爆撃で仕止めた敵艦を尾翼に描く獨伊軍



傷いた勇士を本國病院へ急送する伊赤十字機



北阿の沙漠地帯を急進する獨機化部隊

復習室

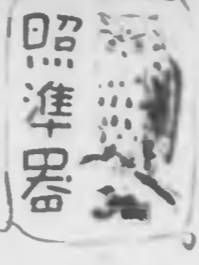
本報からあなたは何を学んだか? 1 世界第三位の棉花生産地は何處でせう?...



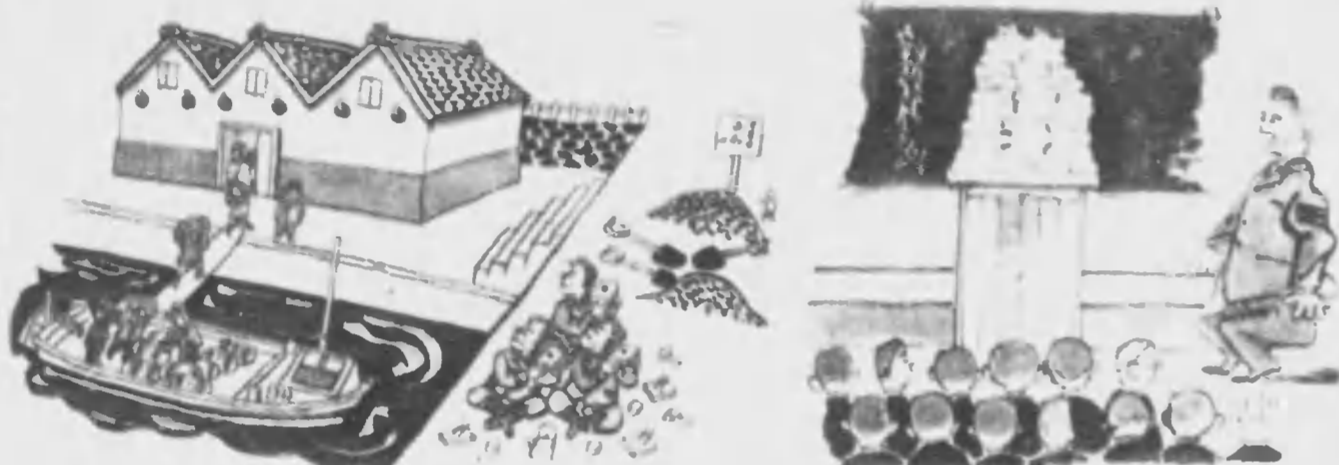
國民映畫 大映作品 『英國劇もの目』

大東亞戦争一周年記念特載大號發行のお知らせ

大東亞戦争一周年記念特載大號發行のお知らせ



新殺感謝



大東亞戦争日誌



Table with columns for '所込申' (Distribution), '價定' (Price), and '高貴通報' (Highly Valued News).

宣  
傳  
週  
報  
第  
一  
七  
二  
号  
第  
一  
期  
第  
一  
次  
印  
行  
日  
第  
一  
次  
印  
行  
日  
第  
一  
次  
印  
行  
日



貯蓄戦でも

米英打倒

長期貯蓄に

生命保険  
徴兵保険

國民貯蓄局

生命保険統制會

内閣印刷局印刷發行

〔内閣印刷局A4規格定用紙より大の書本〕